

◆教会での避難訓練を実施

最近、日本列島に自然災害が続発しています。私たちの住んでいる首都圏でもいつ大地震が起つても不思議ではない状況にあります。

三光教会では、9月23日の7時半（20名参加）と10時半（96名参加）の聖餐式の後に避難訓練を実施しました。今回は、地震発生した時に祭壇のろうそくが倒れて火災が発生した時を想定し、スプレー式の消火器で初期消火する訓練も避難訓練と共に行ないました。皆さんは整然と行動されました。

いつどの程度の地震が発生するか分かりません。その時にどのような対応をすべきかといった正しい答はありません。日頃からあらゆる事態を想定し、それに備えることが重要であり、確率が低いからと言って疎かにすべきではないと思います。

防災担当者で日頃から打合わせすると共に防災マニュアルの見直し、備蓄品の管理をする必要があります。さらに重要なことは教会委員会、アッシャーの方々、礼拝参加者に対する防災に対する啓蒙活動を行うことだと考えます。これからも毎年多少内容を変えて

避難訓練を実施していくようにします。引き続きご協力お願い申し上げます。（記・大越伸二）

ハバロフスク旅行記

聖職候補生 高柳章江

今年は夏休みを5日間いただいて、シベリア（ロシア極東部）にあるハバロフスクという地方都市に行きました。私はロシア語ができず、街中に英語表記はほとんどなく、同行者もいなければ、現地に知り合いもない、旅行代理店を通さず、インターネットを利用して自力で飛行機のチケットとホテルを予約するという一人旅でした。

ハバロフスクは、第二次世界大戦後、日本人捕虜が旧ソ連によつて強制労働させられたというシベリア抑留の地でもあります。今回の旅はそのこととは関係なく、今年の夏の異常な暑さから逃れたい一心で計画しました。ハバロフスクは成田から飛行機で2時間50分ほど。時差は1時間。意外と近いロシアです。

ロシアは正教会の信徒が多い国です。正統派キリスト教会は2世紀頃

から神学的対立が起こり、1054年に東西に分裂してしまします。この分裂によつて東方正教会が成立し、ロシア正教会は東方正教会の中心になりました。ハバロフスクの観光地である旧市街にもロシア正教会の教会が4つありました。

私は毎日礼拝堂に足を運び、隅に置かれた数少ない休憩用のベンチに座つて黙想したり、礼拝の一部始終を眺めました。ロシア正教会の礼拝堂は私たちが見慣れているものとは違い、椅子もオルガンもなく、礼拝は司式者も会衆も立ったまま行われます。また、礼拝はいわゆる歌ミサで、司式者や聖歌隊の声の時には鐘のように、時にはオルガンのように礼拝堂に響き渡りました。よく訓練された人間の声はこんなにもすばらしく鳴り響くものなのかと驚嘆したものです。

今まで私は「キリスト教会は東西に分裂した」という見方をしていましたが、祈る人々の姿を見ているうちに「東方教会と西方教会はもともと一つだったのだ」という見方になりました。その認識の小さな転換は、私にとっては思

いがけない変化であり、貴重な経験となりました。

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2018年11月号 (第672号)

発行者：司祭 神崎和子 編集・印刷：三光教会広報委員会